

原料にも目を向けよう

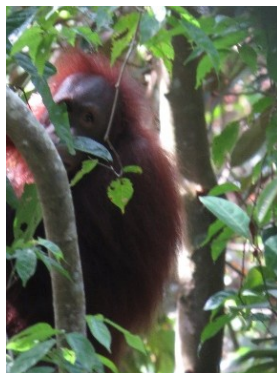
せっけんの主原料は「食用油」ですが、わたしたちの日常生活で最も身近な油、というとパーム油かもしれません。安価で使い勝手が良かったため食品や日用品の材料として多用されており、一例を挙げるだけでも食品ではチョコレートやアイスクリーム、ホイップクリームに、またスナック菓子やインスタント麺の揚げ油として、日用品では洗剤、シャンプー、化粧品などと多岐にわたります（食品では「植物油脂」と表記されることが多いです）。このように生活を豊かにしてくれているパーム油ですが、環境問題に大きく関わっている実情があります。

原料となるアブラヤシの生育地は赤道直下の熱帯地方のみ。大量生産すべくアブラヤシを植えるには、大規模な森林伐採が避けられません。ボルネオ島ではわずか50年ほどの間に、全体でおよそ40%もの熱帯雨林が消失しているとのこと。同時にオランウータンやボルネオゾウといった希少な野生動物が住処を失い、絶滅の危機に瀕しています。近年「エシカル」という言葉が聞かれるようになりました。「倫理的な」という意味を持ち、「環境や社会、人道に配慮し、良識に基づいた製品やライフスタイル」を指します。せっけんの街は森林破壊に加担したくないと同時に生態系への加害者になりたくない想いから、エシカルな製品づくりのためにできることのひとつとしてジェルせっけん『こはく』、台所用液体せっけん『おれんじ』、『お風呂洗い用せっけん』の原料の一部にパーム油ではなくココナッツオイルを選択しています。

柏市内に在住で、せっけんの街の製品を自身のオンラインショップで販売してくださっている緒方葉月さんのお話を伺う機会が2月にありました。緒方さんは学生時代にボルネオ島でオランウータンの生態系を研究したことがあり、現在も「豊かさの背景にある『声をあげない弱者』に、今こそ恩返しを」の強い想いのもと、わたしたちの消費生活と野生動物絶滅の危機が大きく関係していることを伝える活動をしており、自身が開発・製作した製品の売上の一部を「認定 NPO 法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン」に寄付しています。「エシカル」が生活の新しい常識となりつつある現在、40年前からエシカルな暮らしを提案してきたせっけんの街と、想いを同じくする方の輪がどんどん広がって繋がるのを感じたひとときでした。



「ボルネオ島では、1999 年からオランウータンの個体数が半分以上、15 万頭近くが減少したとの研究結果があります。」



緒方葉月さん

※緒方さんの活動を詳しくお知りになりたい方はインターネットにて『エシカルギビング』で検索してみてください。➡



★せっけんの街のせっけん ロングセラーの秘密★

せっけんのいいところは、まず油や泥などの汚れ落ちが良いということ。また、肌に優しく、使われた水はほぼ一日で水と二酸化炭素に分解され、下水処理施設の微生物に負担をかける化学物質を含まないこともメリット。海洋の生物資源を守ることにもつながります。さらに私たちのせっけんは、地域で使われた食用油が資源となり、せっけんとして使われることでリサイクルの輪が回っていく仕組みになっています。こうした特長に共感してくださる方々が、永く愛用してくださっていると考えています。（せっけんの街では我孫子市内の油の他、全体で年間 3,300 kg の廃食油から 5,927 kg の粉せっけんを作っています。）

これからも、原料にもこだわってせっけんづくりをしてきたせっけんの街の取り組みに対する共感を広げ、せっけんユーザーを増やしていきます。

☆☆☆ 地区の活動 ☆☆☆

市民活動発表会2024

つながる ひろがる 私達の活動

（2024年12月1日 @ 佐倉市志津コミュニティセンター）

32団体が参加し、ブースや舞台での発表の他、体験コーナーではせっけんの街も子どもからおとなまで、48人にこねこねマイせっけんで楽しんでもらいました。持参したせっけん製品のうち、ほとんどを売り切りました！



この団体ポスターは、当日の会場のほか、行政により市内三か所を移動して展示されました。



第49回 我孫子市消費生活展

（市制施行55周年記念事業）

（2月1・2日@ あびこ市民プラザ）

メインテーマ 持続可能な社会を目指して

～もっともっと進めよう SDGs～

せっけんの街は、「水は借りもの」をテーマに、
①水はめぐる（下水処理場での微生物の紹介）
②家庭から出る油のゆくえ（手賀沼周辺の自治体の現状）
③天ぷら油は資源です。（我孫子市で回収された油はせっけんの街で粉せっけんになり、市内の学校給食施設等で使用されています。）
④リサイクルせっけん色々
二日間で、約600名の方に説明。今回の目玉は、微生物のクマムシ、イタチムシ、エアロゾマたちの下水処理場での活躍、合成洗剤や油を流さないで！でした。



展示会（生活クラブ生協 茨城）

（3月15日 @牛久センター）

利根川を渡れば茨城。ここでもせっけんの街のせっけん愛好者がいます！



今回担当したせっけんの街理事の馬場さん（左）と新井さん（右）

成田市消費生活展

（1月18・19日 @ユアエルム成田店）

「Q1:せっけんの街のせっけんは何からできている?(子ども向け)」
「Q2:液体せっけんに使っているヤシ油の種類は?(大人向け)」というクイズに回答してくださった方に、お試しサイズのせっけんをプレゼントしました。
「成田市の保育園給食で使った油をせっけんにして、お血洗いなどに使ってもらっているんですよ」とお話すると、「すごい!エコなんですね」と感心してくれる若いお母さん・お父さん、「油からせっけんが作れるんだ!」と素直に驚く子どもたちにお会いできて、せっけんの街の認知度が少しあげられたかな、と感じた2日間でした。



子ども向けクイズに挑戦する「うなりくん」

A1:使用済み食用油 A2:ココナッツ油

印旛沼流域交流会

（2月15日 @イオンタウンユーカリが丘ホール）

千葉県呼びかけで、流域の環境保護団体が45団体も集まりました。今後の交流が楽しみです。



雨水タンク設置しました♪

生活クラブ茨城の組合員さんから、雨水タンクを設置した報告が届きました。

「庭作業用に雨水を利用したいと思っていましたが、設置を後回しにしていました。そんな時に、せっけんの街の方々に会って、2月中旬に設置できました。雨が降って蛇口から水を出すのが楽しみです。」



在庫はあと少しです。設置を検討してみませんか。